

南中野中学校（国語）の特色

- ◇朝読書の習慣を生かし、読書指導、図書館利用の充実を図り、本に親しむ場を多く設定しています。
- ◇全校一斉の同一問題による漢字コンテストを年一回夏休み後に実施しています。
- ◇古典学習の一環として、教科書に出ている古典作品を暗唱させ、古典を身近なものとしています。
- ◇創作意欲向上のため、読書感想文、人権作文に全校で取り組んでいます。
- ◇書写では生徒の作品を廊下に掲示し、互いに鑑賞しあっています。
- ◇「3分間スピーチ」を授業に取り入れ、話す態度と聞く態度を身につけさせています。（2・3年）
- ◇毎時間、授業の始めに10問ずつ行うE漢字テストは10回を区切りとして積み上げの形をとり、漢字に関する意欲を高めています。（1年）

現状分析（成果と課題）		授業改善プラン	
分析内容		指導上の課題	授業改善策
1年	<ul style="list-style-type: none"> ◇教科全体の到達度では「関心・意欲・態度」と「書く能力」の目標値はクリアしています。 ◇落ち着いた態度で、授業に取り組めない生徒もいて、時には、うるさくなりすぎて、收拾がつかなくなる時もあります。 ◇漢字への取り組み意欲が少しずつ育ってきています。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇じっくり落ち着いて人の話を聞いたり、本を読んだりする力を身に付けさせる必要があります。 ◇宿題に対しての取り組みに差が出てきているので、取り組まない生徒の指導が必要になっています。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆積極的な発言を尊重し、問題解決をしようとする意欲を失わずに、発言の中身を吟味する時間を十分とりながら進めていきます。 ◆宿題は点検を必ず行い、家庭学習の定着を図っていきます。
2年	<ul style="list-style-type: none"> ◇教科全体の到達度では「言語についての知識・理解・技能」以外、目標値はすべてクリアしています。 ◇授業中は、落ち着いて課題に取り組む姿勢が見受けられます。 ◇記述問題に対して、抵抗なく取り組めるようになってきました。 ◇言語活動、中でも文法には苦手意識が見られます。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇言語事項では、長文中に表れると応用がきかない生徒もいるので、気をつけさせる必要があります。 ◇宿題や課題に取り組まない生徒が決まっているので、取り組まない生徒の指導が必要になっています。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆言語の応用力に関しては課題学習や実生活での活用の仕方を工夫しています。 ◆宿題は点検を必ず行い、家庭学習の定着を図っていきます。
3年	<ul style="list-style-type: none"> ◇教科全体の到達度では、「読む能力」と「言語についての知識・理解・技能」以外の目標値はすべてクリアしています。 ◇「話す・聞く能力」「書く能力」については興味関心を持っている割には横ばい状態が続いています。 ◇授業中、積極的に参加（発言）する生徒が決まっていますが、3年になって、競い合う姿が見られるようになってきました。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇書くことに抵抗が少なくなっていますが、正確な書き方には課題が残るので、多くの問題に取り組ませる必要があります。 ◇長文を、最後まで、読み取らず、諦めてしまう生徒がいます。読解力のためにも、読書量を増やす指導が必要になっています。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆定期考査に記述問題を必ず入れることで、これからも書くことへの抵抗を少なくし、内容を充実させるよう、添削を工夫していきます。 ◆学習した言語を文章の中での的確に用いることができるよう活用の場面を工夫していきます。

南中野中学校（社会）の特色

- ◇基礎・基本の定着に重点を置き、「予習→授業→復習」の学習パターンの定着に力を入れています。
- ◇ワークやプリントを使って、学習内容を繰り返し確認し、学習内容の定着を図っています。
- ◇社会の出来事について、興味・関心を高めることを意識して、一人一人が自分の意見・感想を考えることができるように発表・論文を取り入れています。
- ◇ICTの活用によって少人数しかできなかったことやリアルタイムにできなかったことが可能になるように研究・努力をしています。
- ◇中野税務署（本年は税理士の方）による出前授業を実施し、専門職の方から学ぶことができる機会を設定しています。
- ◇司書教諭と綿密な連携をとりながら、図書室の整備により、「社会科コーナー」の設置や「今月の社会科の本」などの紹介を充実させています。

現状分析（成果と課題）		授業改善プラン	
分析内容		指導上の課題	授業改善策
1年	<ul style="list-style-type: none"> ◇中野区の学力調査の結果からは、観点別正答率は全観点が期待値を下回っています。 ◇基礎よりも活用の面に課題があります。 ◇「日本国憲法」については期待正答率を大幅に上回ったものの、それ以外はすべて下回っている現状です。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇授業内での取り組みに少々課題がみられます。O NとO F Fの区別をはっきりつけさせる授業を展開します。 ◇社会の出来事に興味・関心を持ち、自分の意見・考えを持たせていく指導上の工夫が必要です。 ◇活用につながる知識の定着を目指し、関連のある復習の内容も指導します。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ワークやプリントを活用して、「予習→授業→復習」の学習パターンを身につけ、家庭学習の充実によって基礎的な学習内容の定着を図っていきます。 ◆思考・判断、技能・表現の力をさらに身につけさせるために新聞の読み方・ノート・宿題の指導を徹底します。 ◆都道府県名・都道府県庁所在地名の小テストを実施し、日本地理の基礎・基本を確実にします。
2年	<ul style="list-style-type: none"> ◇基礎は、区平均を少し下回っている程度ですが、活用は、区平均を大幅に下回っています。 ◇領域別では、歴史的分野は「古代までの日本」など区平均を上回っているのに対して、地理的分野は「世界と日本の地域構成」が大幅に下回っています。 ◇観点別では、4観点とも区平均を少しずつ下回っていますが、特に「資料活用の技能・表現」が低いです。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇授業への取り組みは昨年同様よいのですが、昨年と比較すると、授業内での発言が偏り、自分の考えを表現することに課題が出てきました。 ◇社会の出来事に興味・関心を持ち、自分の意見・考えを持たせていく指導上の工夫が必要です。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ワークやプリントの活用とノートの工夫などで知識を整理させ、学習内容の定着を図っていきます。 ◆I C T機器等を活用し、生徒の興味・関心を引き出し、自分の考えをまとめ、発表する機会を増やしたいです。 ◆地理的分野の授業時間を増やし、「世界と日本の地域構成」について、基礎・基本の徹底を図ります。
3年	<ul style="list-style-type: none"> ◇中野区の学力調査の結果からは、「観察・資料活用の技能・表現」・「社会的事象についての知識・理解」の2観点で期待正答率を上回っています。 ◇昨年と比較すると、すべての観点において成長がみられます。 ◇内容では、正答率において歴史の「江戸時代」、地理の「世界の国々の調査」で課題が見られます。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇雨温図や地形図の読みとり、歴史の並べ替えなど、知識だけでは得点にならないものをより多く解けるように問題に接する機会を増やします。 ◇応用の基盤となる「知識・理解」の定着を図ります。 ◇進学のための勉強だけではなく、社会科全般についての思考・判断力、技能・表現力をつけます。 ◇「関心・意欲・態度」が目標値に届かなかったため、生徒のやる気を引き出す授業をすることが必要です。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆復習問題のプリント等を利用し繰り返し身につけさせる指導を実施します。 ◆新聞記事の「3分間スピーチ」を通じて社会の出来事に興味・関心を持つ態度を養います。 ◆出前授業やDVDなど視聴覚教材を使い、自分の意見や考えを発表したり論文に書いたりすることにより「社会的な思考・判断」・「観察・資料活用の技能・表現」の力を養います。 ◆入試問題での出題も紹介していくことで知識の活用方法を伝えていきます。

南中野中学校（数学）の特色

次の3点を特に意識しながら日々の活動を進めています。

- (1) 計算については、答えだけでなく途中の式を表現する力を重視します。
- (2) 数量の関係や図形の性質などを考察し、見出したことは根拠をもって表現する力を育みます。
- (3) 日常の事象を数学的にとらえたり、学んだ数学を生活に生かしたりして、数学が役立つことを実感させます。方法として、以下のような取り組みを行っています。

◇1, 2年は、習熟度に応じた授業形態やクラス2分割の授業形態により、基礎・基本の確実な定着と、個に応じた指導の充実を図っています。

◇教科書だけではなく、生徒の日常生活にも関連した題材を教材化し、活用しながら授業を進めています。

◇授業では、互いの考え方を尊重し、より良い解決策を検討したり発表しあったりする環境作りに努めています。

◇土曜日の学校公開日の午後や夏季休業中に補習教室を開き、学習内容の深化・補充を図っています。

現状分析（成果と課題）		授業改善プラン	
分析内容		指導上の課題	授業改善策
1年	<ul style="list-style-type: none"> ◇授業に意欲的に取り組む生徒が多いが、ノートを取る習慣が身につけていない生徒も例年に比べて多いようにみられます。関連して課題の提出などに、差が始めています。 ◇中野区学力調査の結果からみると、観点別正答率は、ほぼ中野区の期待正答率と同じですが、基礎・活用で分けると、活用中の表現力が弱いです。 また、意識調査で、「わからなかったり間違えた所は繰り返し練習している」と「問題を図や表にして考える」が低いことから、活用することが苦手だったり、学習習慣が定着していないことが分ります。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇意欲的に取り組む生徒を伸ばしつつ、理解に時間がかかる生徒や書く事を嫌う生徒の基礎学力の定着や学習習慣の定着が必要です。 ◇クラス2分割や、習熟度に応じた授業形態で行っていますが、その切り替え時期の見直しを行います。そして、2分割にしたときの授業内容（進捗と深度）のより細かい教員同士の打合せを実施します。 ◇基礎基本の定着を図るため、教材や課題の開発が必要です。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆学生ボランティアを複数活用し、授業のアシスタントに入ってもらい基礎学力の定着を図ります。 ◆単元や章ごとに確認テストを行い、理解するまでやりとりをして、わからない問題をそのままにしないようにし、基礎学力の定着を図ります。 ◆授業で考える時間、操作活動の時間、話し合う時間を作り、人の考えを聞いて発表し合います。 ◆「授業→復習」のサイクルを習慣化し、家庭学習の定着を図ります。
2年	<ul style="list-style-type: none"> ◇おとなしい生徒が多く、授業中は真剣に取り組んでいますが、黒板などで積極的に問題を解こうとする生徒は少ないです。 ◇問題を解くとき、途中の考え方を省略して答えだけを書こうとする傾向が増えてきています。 ◇中野区学力調査の結果からみると、図形の領域の正答率は、中野区の領域別正答率より高くなっています。また、教科の正答率では、活用では区の平均正答率と同じですが、基礎が低くなっています。 ◇意識調査では、作図に興味・関心を持って取り組む生徒が多いという傾向が見られます。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇日常生活での数学には関心を持っている生徒が多いので、このことを利用して数学への興味・関心を高めるような教材や課題を考える必要があります。 ◇基礎学力を充実させ、発展的な学力を伸ばすための授業の工夫をしていく必要があります。 ◇解いていく過程をしっかりと書く習慣を身に付けることが大切です。 ◇少人数授業を有効にするために教員間の打ち合わせを綿密に行うことが必要です。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆学生ボランティアを複数活用し、授業のアシスタントに入ってもらい基礎学力の定着を図ります。 ◆単元や章ごとに確認テストを行い、理解度を確認し、理解不足の生徒には補充授業等を行い理解不足の解消をしていきます。 ◆学力の定着を図るために、宿題プリントを毎時間（基礎から発展問題を含めます。）出すようにします。 ◆基礎学力が定着していない生徒のために放課後・定期考査前・長期休業中に補習教室を行います。 ◆教材の工夫・改善し数学を利用（考えて）して解決することの「よさ」「成就感」を得られるようにします。
3年	<ul style="list-style-type: none"> ◇中野区学力調査の結果を経年比較してみると、観点別学習状況では昨年度(2年生次)より「関心・意欲・態度」以外の3観点では向上が見られます。とりわけ「数学的な表現・処理」の観点は際だって伸びています。 「関心・意欲・態度」を細かく見てみると「テストで良い点数を取りたい。」というところでは高い数値が出ていますが、数学を日常生活に利用することや、生活の中の確率や、結論を論理立てて証明するといった事などには低目の数値が出ています。 また、「基礎」に関してもかなりの進歩が伺えます。しかし、「活用」に関しては残念ながら昨年を下回っています。 ◇授業に関しては、ノートをしっかりととり、集中して臨んでいます。また、発言も多く積極性もありこれからの伸張が期待できます。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇点数を取ることに重きを置いている生徒が多いので、日常生活の中での数学の利用、日常に応用できるような数学の教材や課題を考える必要があります。 ◇見直しや別の解法で解くということを手にする生徒が多いので、一つの問題をいろいろな解き方で解けることを導く授業を行っていく必要があります。 ◇基礎基本の定着を図るため、教材や課題の開発が必要です。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆学生ボランティアを複数活用し、授業のアシスタントに入ってもらい基礎学力の定着を図ります。 ◆単元ごとに確認テストを行い、理解するまでやりとりをして、わからない問題をそのままにしないようにし、基礎学力の定着を図ります。 ◆数学的思考方が、日常生活の中のどんなところで生かされているか考えさせるようにします。 ◆授業で考える時間、操作活動の時間、話し合う時間を作り、人の考えを聞かせたり、発表させます。 ◆「授業→復習」のサイクルを習慣化し、家庭学習の定着を図ります。

南中野中学校（理科）の特色

- ◇少人数授業を行い、個別実験を行うなどきめ細かな指導を行います。
- ◇視聴覚機器やパソコンを活用し、わかりやすい授業を心がけています。
- ◇授業の内容をノートにまとめ直すことで、知識の定着を図っています。
- ◇ワークシートやノートを定期的に回収・評価して、継続的な学習への意欲付けを行っています。
- ◇教科書の課題実験だけでなく、発展的な実験を多く行い、観察力、実験力を高めます。
- ◇重要な実験機器の取り扱いについてパフォーマンステストを実施し技能の定着を目指しています。
- ◇単元末にワークを行うことで、知識理解度の把握・自己評価を行っています。

現状分析（成果と課題）		授業改善プラン	
分析内容		指導上の課題	授業改善策
1年	<ul style="list-style-type: none"> ◇全領域ともに基礎力に課題があり、特に「物質とエネルギー」「地球と宇宙」は中野区の期待正答率から 5%以上低くなっています。 ◇観点別では、「自然現象についての知識・理解」が他の観点と比べて低いです。 ◇観察・実験への興味関心が強く、意欲的に授業参加します。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇基礎基本的な内容を復習・確認する時間が多くとれていないです。 ◇観察や実験結果について深く考えさせる時間がとれていません。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆単元末に単元の復習をするだけでなく、復習範囲や復習回数を増やすなどして知識の定着をはかります。 ◆基礎基本の知識理解を生かした活用型授業を増やすことで、科学的思考力を育成します。
2年	<ul style="list-style-type: none"> ◇全領域ともに中野区の期待正答率から 5%以上低くなっています。特に「身近な物理現象」は 12%低いです。 ◇全ての観点で、中野区の期待正答率から 10%以上低くなっています。特に「自然事象への関心・意欲・態度」は 13.7%低いです。 ◇実験レポートやノートを工夫してまとめることや課題を意欲的に取り組むことができます。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇基礎基本の定着を確認・自己評価できるような小テストや単元末テストが少ないです。 ◇観察や実験結果について深く考えさせる時間がとれていません。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆授業・単元毎の確認テストを数多く行い、生徒自らが自己評価・定着確認できるようにします。 ◆基礎基本の知識理解を生かした活用型授業を増やすことで、科学的思考力を育成します。
3年	<ul style="list-style-type: none"> ◇ほぼ全領域において中野区の期待正答率を上回っていますが、「電流とその利用」のみ 5%ほど下回っています。 ◇観点別ではすべての観点で中野区の期待正答率とほぼ同程度の正答率です。観察実験の技能・表現では 7%ほど上回っています。 ◇表現の能力や活用の問題に取り組むことを苦手とする生徒が多いです。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇自分の考えを表現する時間が多くとれていないです。 ◇予想と違う実験結果などに、自分で考え、答えを導き出そうとする時間が少ないです。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆言語活動を通して、自分の考えを発表する機会を多く作っていきます。 ◆実験レポートやワークシートを活用して結果から理論を考察する力を育成します。

南中野中学校（音楽）の特色

- ◇学校行事（合唱コンクール、卒業式、入学式等）で合唱をする場面があり、クラス合唱、学年合唱、全校合唱を行っています。
- ◇和楽器の箏に各学年取り組み、簡単な奏法を身につけさせます。
- ◇器楽（アルトリコーダー）の練習は親しみやすい曲を課題にし、意欲的に練習しています。
- ◇2・3年生は1クラスを2つに分け、少人数編成で授業を行っています。そのため、一人一人の取り組みが見えやすく、意欲の向上につながっています。

現状分析（成果と課題）		授業改善プラン	
分析内容		指導上の課題	授業改善策
1年	<ul style="list-style-type: none"> ◇意欲的に歌唱に取り組んでいる生徒が多くみられますが、少し意欲に差があります。話を聞き、課題に取り組む姿勢を育てていく必要があります。 ◇定期考査の取り組みはまだ不十分です。 ◇鑑賞や器楽の授業に熱心に取り組んでいます。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇意欲を技術（男声、アルトの音程やリズム、響きのある発声法）の向上につなげていく必要があります。 ◇器楽の基礎の奏法を親しみやすい曲で確実に身につけさせます。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆演奏すべき音をなるべく早く覚えられるように、1回1回の音に集中させます。 また、上級生の合唱やCDの範唱から学ぶ場面を増やし、自分の歌唱技術の目標を持たせます。 ◆振り返りやすい学習シートを工夫し、定期テストの学習に役立たせます。
2年	<ul style="list-style-type: none"> ◇意欲的に歌唱に取り組んでいる生徒が多いです。表現の向上させる意欲をさらに持たせていく必要があります。 ◇定期考査の取り組みが少しずつ前向きになってきています。 ◇鑑賞や器楽の授業にも熱心に取り組んでいます。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇意欲を技術（正しい音程やリズム、響きのある発声法）の向上につなげていく必要があります。 ◇パート練習の内容を工夫させ、表現技術の向上をめざします。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆演奏すべき音をなるべく早く覚えられるように、1回1回の音に集中させます。 また、上級生の合唱やCDの範唱から学ぶ場面を増やし、自分の歌唱技術の目標を持たせます。 ◆振り返りやすい学習シートを工夫し、定期テストの学習に役立たせます。
3年	<ul style="list-style-type: none"> ◇歌唱への意欲が高くなり、熱心に取り組む生徒が増えてきています。表現しようという意欲が技術の向上につながっています。 ◇定期考査の取り組みが前向きになってきています。 ◇器楽（アルトリコーダー）では基本の奏法はほとんど出来ています。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇自分の声で表現できることの幅をさらに広げられるようにします。 ◇定期考査の学習のポイントを着実につかませます。 ◇器楽の課題を確実に習得させます。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆合唱コンクールの練習を通して、表現の工夫すべきポイントを伝えます。 また、楽譜の知識を理解させ、それを表現できるようにさせていきます。 ◆振り返りやすい学習シートを工夫し、定期テストの学習に役立たせます。 ◆練習の機会を何度も設けます。

南中野中学校（美術）の特色

- ◇2・3 学年で少人数授業を行い、生徒の個性に応じたきめ細やかな指導を目指しています。
- ◇ICT 機器を効果的に活用し、わかりやすい授業を心掛けています。
- ◇基本的な知識や用具の正しい使用方法をワークシートで身につけられるようにしています。
- ◇継続性、発展性のある題材で、段階的に質の高い作品づくりができるようにしています。
- ◇校内で多くの作品に触れる機会をつくり、制作意欲が高まるようにしています。
- ◇美術ファイルをつくり、過去の作品や資料を振り返り復習ができるようにしています。

現状分析（成果と課題）		授業改善プラン	
分析内容		指導上の課題	授業改善策
1年	<ul style="list-style-type: none"> ◇単純作業で成果が実感できる事に対して意欲的に取り組むが、丁寧な作業や考えて取り組む事に対して集中力がなく、苦手意識を持っています。 ◇説明を最後まで聞く習慣が身についておらず、思い込みや感覚で作業に取りかかり、失敗をしてしまう生徒がみられます。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇丁寧な作業をすることによってどんな成果が得られるか体験させる必要があります。授業の中で主体的に考える取り組みも積極的に取り入れるべきだと思われます。 ◇大切な指示をポイントを押さえて聞かせる工夫が必要です。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆段階的にワークシートを作成し、スモールステップで丁寧に作業をした成果がわかりやすいものにします。 ◆授業の導入、ポイントの指導などで ICT 機器を積極的に活用し指示がしっかりと頭に入るようにします。
2年	<ul style="list-style-type: none"> ◇少人数により、落ち着いた授業を実施できています。真面目な態度で集中して制作に取り組んでいます。 ◇発想力の豊かな生徒が多く、のびのびと作品の構想を膨らませている様子うかがえます。 ◇レタリングの知識や、絵の具の使い方が身につけていない生徒がみられ、作品の出来上りに影響を与えています。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇豊かな発想を活かした作品づくり、その発想が評価に反映されるような工夫をします。 ◇自己の発想を実現させるための技術と知識を身につけさせる指導が必要です。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆アイディアスケッチのワークシートをテストに取り入れるなどして、よりわかりやすく評価に反映させます。 ◆1 学年で身につけるべき知識や技能を復習できる機会のある題材とします。
3年	<ul style="list-style-type: none"> ◇少人数により、落ち着いた授業を実施できています。真面目な態度で集中して作業に取り組んでいます。 ◇生徒により作業進度に差ができています。作業の早い生徒が遅れ気味の生徒にアドバイスや手助けをする場面も見られます。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇作業進度の差をフォローできるような工夫が必要です。 ◇より多くの生徒が作品づくりを楽しめるような課題の研究をします。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆進度の遅い生徒を早い生徒がアドバイス、手助けできる環境をつくっていきます。作業内容を精選し進度の差ができないような授業にしていきます。 ◆題材が偏らないよう、短時間課題も取り入れて、年間の作品数を増やすようにします。

南中野中学校（技術）の特色

- (1) ものづくりや情報機器の活用など実習を多く取り入れることにより、授業に対する興味・関心を高め、より実践的な問題解決能力の育成を図ります。
- (2) 実習を伴う授業において少人数指導を実施し、生徒一人一人の習熟度に応じたきめ細かい指導を行います。
- (3) ICT機器を多く活用し、わかりやすい授業を行います。また、情報活用能力の育成を図ります。
- (4) ものづくりの実践の中で、環境教育、エネルギー変換の学習の充実を図ります。

〈主な指導内容〉

- 1年 … 木材（集成材）を使ったCDボックス製作、PCの活用（図形処理）
 2年 … 電気のしくみ、エネルギーの活用と変換、マルチライト製作、PCの活用（文書作成）
 3年 … PCの活用（文書作成応用・表計算・情報通信・マルチメディアの活用）、オルゴール製作（力の伝達）

現状分析（成果と課題）		授業改善プラン	
分析内容		指導上の課題	授業改善策
1年	<ul style="list-style-type: none"> ◇立体を直感的にイメージする能力が不足している生徒が多いように思われます。 ◇生活の中で自らものを作るといった経験が少なくなり、いろいろな工具、道具の使用法が習得できていません。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇視覚的に立体の展開図がしっかりとイメージできるよう、ICT機器を活用して展開図を表示します。 ◇実技実習の中で、生活の中で活用できる工具を多く取り入れ、活用法を習得させます。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇立体の展開のイメージを想像しやすくなるよう、ICT機器を活用して展開図を示し、想像能力を養います。 ◇友人のサポートをすることにより、今まで気づかなかった新たな課題・問題点を気づかせ、問題解決能力を育成します。
2年	<ul style="list-style-type: none"> ◇電気の分野において安全に取り扱うための注意力や知識を深める必要があります。 ◇情報機器を活用した実習には積極的に取り組んでいます。作業進度に個人差が生じ、入力を苦手にしてしている生徒が見受けられます。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇事故例を提示し、安全に作業を進めることを常に促すようにします。 ◇少人数授業を活用し、キーボード操作を苦手としている生徒に対して、丁寧に指導にあたります。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇安全指導に重点を置き、ケガを未然に防ぐために、予測される事故・ケガ等を自ら考えさせ、説明をして作業における注意点をしっかりと理解させます。 ◇誰もがICT機器に抵抗なく身近な道具として活用できるよう、調べ学習やレポート作成等で積極的にパソコンを活用していき、技能向上を図ります。
3年	<ul style="list-style-type: none"> ◇不自由のない環境の中で生活していると、資源やものを大切に扱う気持ちが薄れてしまっています。また電力不足に対して、意識を高め、少しでも自分が協力する態度・行動を身に付けます。 ◇製作過程は丁寧で素早いですが、完成してしまうとそこでやる気をなくしてしまい、それ以上の工夫を行わない生徒が多いです。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇壊れたものは使い捨てるのではなく、修理しながら大切に使うことや、環境に優しいエネルギーを推進する指導を行っていきます。 ◇完成作品を自己評価および生徒同士で作品を評価させることにより、自分では気が付かない作品の欠点を気付けさせ、改善させるなど、さらに工夫やアイデアの創造性を伸ばします。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇生活の中で活用することができる工具や作業手順を、実習を通して自ら判断しながら製作を行い実践的な技能・能力を高めさせます。また、家庭でできる省エネ案を考えさせ実践させます。 ◇個々の技能にあわせて到達点を自分自身で設定し、時間のある限り問題点を修正していくことで、さらなる技能向上を図っていきます。

南中野中学校（家庭）の特色

◇落ち着いた授業環境である現状を踏まえ、「話しをしっかりと聞く」「課題に集中して取り組む」

「達成感を味わえる」習慣を身につけさせます。そのためには、

- ① 生き生きと生活を楽しめる工夫ができる生徒
- ② 意欲的に自らの課題を探りだそうとする生徒
- ③ 自分の周囲の生活環境について前向きな実践を創造できる生徒

を南中野中学校の家庭科教科の特色としたいです。

また、具体的な各学年の手立てとして

1年生・・・食物について理解した実習計画から「調理実習」を実践し、家庭での課題を達成します。

2年生・・・衣服の簡単な手入れと補習を実践し、住生活で使える「エコティッシュカバー」を製作します。

3年生・・・幼児について理解した上で、自ら課題を選択し問題意識を持って「ポートフォリオ」を製作し問題解決できる力を育成します。

以上具体的な目標が達成できるよう取り組み、南中野中学校の家庭科の特色としていきます。

現状分析（成果と課題）		授業改善プラン	
分析内容		指導上の課題	授業改善策
1年	◇小学校からの流れを受けて、「食物」を扱う「食生活と自立」を最初に計画しました。食への興味関心を強く持っている1年生を対象に積極的に取り組んでいます。南中野中学校の1年生もやはり食への興味関心が高いです。	◇自分の食生活を振り返る授業から、現在食べている食品への興味関心を高めます。家庭でも自分で調理する機会を増やす課題を考えます。	◇以上の分析により、高い意欲関心を活かした指導計画を立て、さらに家庭での実践につながる指導法の工夫を考えます。
2年	◇製作に入ると集中して活動できる生徒が多いです。真面目に取り組めるので、製作を通して達成感を味わうことができ、ものづくりへの興味・関心を高めることも期待できます。	◇手先や体を動かす体験的な実習時間の工夫を考え、経験を増やして家庭での実践、技術力向上も考えます。	◇家庭での実践へつながる楽しい課題を考え、手や体を動かす体験を多く取り入れた実践を増やします。
3年	◇ものづくりに関心が高く、一人一人が質の高い作品作りに期待が持てます。また個性を生かした自分らしいテーマを選ぶことができ、さらに問題を探究して作品を完成させることができます。	◇幼児について基礎的な理解から自らの課題をみつけ解決するためのアプローチを考えます。	◇ポートフォリオ製作の過程で、教師からの声かけや助言を多く増やし、作品への問題意識や製作への努力が表現できるよう生徒と共に取り組みます。

南中野中学校（保健体育：男子）の特色

- ◇集団行動やラジオ体操などを年度当初にしっかりと実施します。
- ◇週3時間の授業を実施しています。その中で、学校選択としてフラッグフットボール・ダンス（南中ソーラン）にも取り組んでいます。この南中ソーランは、運動会で3年生が3年間の積み重ねの成果を発表します。
- ◇毎時間の授業記録表の記入や授業カードの活用で、生徒一人一人がよく考えて授業に取り組めるようにします。
- ◇1時間中の生徒一人ひとりの運動量をできるだけ多く確保するような授業展開ができるような工夫をします。
- ◇3年生は、全クラス単級で授業を展開し、より細やかな指導をしています。
- ◇縦割りカラー対抗の形式で、運動会に取り組みます。

現状分析（成果と課題）		授業改善プラン	
分析内容		指導上の課題	授業改善策
1年	<ul style="list-style-type: none"> ◇集団行動の基本的習慣が身につけていない生徒がいます。 ◇意欲的に取り組める生徒とそうでない生徒がいます。 ◇基礎体力が不足している生徒が多くいます。特に、スピード、持久力、投能力が劣っています。 ◇筆記試験では、テストに慣れていない生徒が多いせいか、得点が伸びていません。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇集団行動の意識付けが必要です。 ◇きちんと話を聞ける体勢を作ります。 ◇個々の生徒のもつ課題を明確にします。 ◇基礎体力をより高めるための取り組みを行います。 ◇運動に対する知識・理解の繰り返しを徹底します。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆集団行動や話を聞く姿勢作りを繰り返し行い、身につけさせます。 ◆授業中や授業記録表での反省に対する個々へのアドバイスを実施する事で、課題をはっきりとさせます。 ◆体ほぐし運動と体力を高める運動を毎時間実施し、また、5分間走や3分間縄跳びの取り組みも行います。 ◆授業中に前時の確認をすることや再テストを繰り返し行うことで、知識・理解の定着を図ります。
2年	<ul style="list-style-type: none"> ◇意欲的に取り組める生徒がいるなかで、話を聞く態度が悪くしっかりと取り組めない生徒がいて、それに流されてしまい、集中できない生徒も多々います。 ◇この1年で、基礎体力も徐々についていますが、スピード、敏捷性が不足しています。 ◇筆記試験は、取り組みの甘さから定期試験での得点が伸びません。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇きちんと話を聞ける体勢づくりを行います。 ◇集中するために、お互いに声をかけ合います。 ◇個々の生徒のもつ課題の明確化させます。 ◇基礎体力をより高めるための取り組みを行います。 ◇運動に対する知識・理解の繰り返しを徹底します。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆話を聞く姿勢作りを繰り返し行い、身につけさせます。 ◆授業中や授業記録表での反省に対する教師からの個々へのアドバイスや生徒同士のアドバイスを実施する事で、個々の課題をはっきりとさせます。 ◆体ほぐし運動と体力を高める運動を毎時間実施し、また、5分間走や3分間縄跳びの取り組みも行います。 ◆授業中に前時の確認をすることや再テストを繰り返し行うことで、知識・理解の定着を図ります。
3年	<ul style="list-style-type: none"> ◇少人数での授業や生徒一人ひとりの意識の変容から、意欲的に授業に取り組めていますが、自分たちで考え行動することができない生徒がいます。 ◇この2年で、基礎体力も徐々についていますが、スピード、持久力が少し不足しています。 ◇筆記試験は、しっかりと取り組み、定期テストでの点数も高い数値を残しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇自己の体力や運動に関心を持ち、課題をはっきりさせます。 ◇課題解決のために、自ら考え行動し、判断力を養います。 ◇基礎体力をより高めるための取り組みを行います。 ◇運動に対する知識・理解の繰り返しを徹底します。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆授業中や授業記録表での反省に対する教師からの個々へのアドバイスや生徒同士のアドバイスを実施する事で、個々の課題をはっきりとさせます。 ◆授業記録表で次の時間の目標を立てることで、その課題を達成する姿勢を身につけさせます。 ◆体ほぐし運動と体力を高める運動を毎時間実施し、また、5分間走や3分間縄跳びの取り組みも行います。 ◆授業中に前時の確認をすることや再テストを繰り返し行うことで、知識・理解の定着を図ります。

南中野中学校（保健体育：女子）の特色

- ◇集団行動やラジオ体操などを年度当初にしっかりと実施します。
- ◇週3時間の授業を実施しています。その中で、学校選択としてフラッグフットボール・柔道に取り組んでいます。また、南中ソーランを行い、運動会で3年生が3年間の積み重ねの成果を発表します。
- ◇毎時間の授業記録表の記入や授業カードの活用で、生徒一人ひとりがよく考えて互いに助言し合い、言語活動を充実させた授業を行えるようにします。
- ◇1時間中の生徒一人ひとりの運動量をできるだけ多く確保する授業展開を工夫します。
- ◇3年生は、全クラス単級で授業を展開し、より細やかな指導をしています。

現状分析（成果と課題）		授業改善プラン	
分析内容		指導上の課題	授業改善策
1年	<ul style="list-style-type: none"> ◇意欲的に授業に取り組んでいます。 ◇体力の要素では、筋力、柔軟性、投能力、瞬発力が不足しています。 ◇落ち着いて話は聞くことができ、説明した内容が理解できず、その動きをイメージすることができないことが多少あります。 ◇定期テストでは筆記試験に慣れない中、学習方法がわからない生徒が多く出ました。また、学習してもきちんと理解できず実力が発揮できない生徒もいます。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇話を理解できない生徒がいるので記録を書かせて確認する必要があります。 ◇運動経験が少ない生徒が多くいるのでトレーニング方法の工夫が必要です。 ◇運動に関する知識・理解がしっかりと身につけていない生徒が多くいるので記録表やノートに書かせて確認する必要があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆授業中の集合や話を聞く姿勢作りを繰り返し行い、身につけさせます。 ◆授業中や授業記録表での反省に対する個々へのアドバイスを実施する事で、課題をはっきりとさせます。 ◆体ほぐし運動と体力を高める運動を毎時間実施し、基礎体力が身につくよう工夫します。 ◆ノートに身体の動きやポイントを書かせ、知識・理解が身につくよう取り組みます。
2年	<ul style="list-style-type: none"> ◇意欲的に授業に取り組んでいます。 ◇全体的に運動能力が高く活発的です。 ◇体力の要素では、柔軟性、投能力が不足しています。 ◇説明をしている途中で、話をしたり他に目がいってしまったりと、集中力が少し欠けています。その結果、同じ質問をすることが多々あります。 ◇定期テストでは筆記試験に慣れ、学習の成果を発揮した生徒と、学習不足の生徒との差がありました。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇話をしっかりと理解できない生徒がいるので、理解するまで確認する必要があります。 ◇集中するために、互いに声かけしたり周りの場の雰囲気を知り、判断力を養うようにする必要があります。 ◇運動に関する知識・理解がしっかりと身につけていない生徒が多くいるので、テストを踏まえて指導する必要があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆授業中の集合や話を聞く姿勢作りを繰り返し行い、身につけさせます。 ◆授業中や授業記録表での反省に対する教師からの個々へのアドバイスや生徒同士のアドバイスを実施する事で、個々の課題をはっきりとさせます。 ◆体ほぐし運動と体力を高める運動を毎時間実施し、体力が向上するよう工夫します。 ◆授業中での授業記録表や小テストの実施などを繰り返し行うことで、知識・理解の定着を図ります。
3年	<ul style="list-style-type: none"> ◇全体的に意欲的に授業に取り組む姿勢が見られます。 ◇体力の要素では、筋力、持久力が下回っています。 ◇基礎体力が不足している生徒が多くいます。特に持久力が劣っています。 ◇定期テストでは筆記試験に慣れ、勉強の成果を発揮した生徒と、勉強不足の生徒との差がありました。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇話をしっかりと理解できない生徒がいるので、理解するまで確認する必要があります。 ◇基礎体力が不足する生徒が多くいるのでトレーニングの工夫が必要です。 ◇運動に関する知識・理解がしっかりと身につけていない生徒が多くいるので、テストを踏まえて指導する必要があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆授業中の集合や話を聞く姿勢作りを繰り返し行い、身につけさせます。 ◆授業中や授業記録表での反省に対する教師からの個々へのアドバイスや生徒同士のアドバイスを実施する事で、個々の課題をはっきりとさせます。 ◆体ほぐし運動と体力を高める運動を毎時間実施し、体力が向上するよう工夫します。 ◆授業中での授業記録表や小テストの実施などを繰り返し行うことで、知識・理解の定着を図ります。

南中野中学校（英語）の特色

- ◇少人数・習熟度別授業を展開しています。
- ◇基礎コースは、反復練習を行うことにより、教科書の内容理解と単語力の強化を目標にしています。
- ◇標準コースは、表現活動を取り入れながら、教科書の内容理解に加えて、標準的な課題に取り組む力をつけることを目標にしています。
- ◇週2回学力向上アシスタントが授業や放課後学習に加わり、生徒の学習のサポートを行っています。
- ◇希望者を募って、本校を会場にした実用英語技能検定（英検）を実施しています。

現状分析（成果と課題）		授業改善プラン	
分析内容		指導上の課題	授業改善策
1年	<ul style="list-style-type: none"> ◇全体的に落ち着いて真面目に授業に取り組んでいます。しかし、一部ではありますが授業に集中できなかったり、忘れ物をしてくる生徒がいます。 ◇まだ英語学習がスタートしたばかりであり、4言語技能においてどの分野も概ね基本的なことは到達できていますが、「書く」、「話す」分野がやや弱い傾向があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇一人一人の意識を高め、毎時間の授業に集中して臨む習慣を付けさせます。 ◇4言語技能をバランスよく習得させ、特に「書く」「話す」という表現の力を身につけさせる必要があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆1時間ごとの目標や課題を明確にし、生徒が意欲的に取り組めるようにします。 ◆ノートやワークの点検をこまめに行います。 ◆暗唱やスピーチを行い発表の機会を設けます。 ◆少人数を有効に利用し、書く作業は一人一人丁寧に指導します。
2年	<ul style="list-style-type: none"> ◇観点別正答率は、「表現の能力」が期待正答率から2.8%低くなっていますが、その他の3項目「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」は、1.3%「理解の能力」2.4%「言語や文化についての知識・理解」は2.7%高くなっています。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇基礎的な文法はまずまず成果が出ていますが活用が弱いです。 ◇表現する力、つまり書く力が不足しています。 ◇発表、発言の機会を工夫する必要があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆基本文や単語については継続的に練習していきます。 ◆音読やペアワーク、スピーチなど、発表の機会を増やします。 ◆ワークブック、ノート点検をまめにします。 ◆補充学習を充実させます。
3年	<ul style="list-style-type: none"> ◇どの観点も期待正答率を上回る結果となっていますが、「表現の能力」の観点において0.8ポイント上回るにとどまっています。 「言語・文化への知識・理解」と比較してみると、文法、単語はよく覚えられています。が、応用、活用でミスをしたり、しりごみする傾向が見られます。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇知識理解に関する指導、強化は継続して続けていきます。 ◇基礎の定着レベルに合わせて、学習した表現を使うこと、特に書くことの練習を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆単元テストの実施と見直し、確認します。 ◆書く表現課題を設定します。パターン練習や課題英作文、英文日記など。 ◆学び合いの充実 協同採点、共同作成の機会を作ります。 小テスト、英文日記など。